

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 20 日

佐世保市長 宮島 大典 殿

提出者
住所
長崎県佐世保市白木町3番18号

氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)
株式会社 上 滝 佐世保支店
常務取締役支店長 山崎 洋樹

電話番号
0956-23-3311



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 上滝 佐世保支店
事業場の所在地	長崎県佐世保市白木町3番18号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	06:総合工事業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高 2,784,492,950-
③ 従業員数	31人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

支店長 (産業廃棄物処理総括責任者)

→ 土木部・建築部統括責任者(土木部次長・建築部次長)

→ 土木部・建築部処理計画作成担当者

→ 現場代理人(各現場産業廃棄物管理責任者・特別管理産業廃棄物管理責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】 別紙有		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排 出 量	297.50 t	128.00 t
	(これまでに実施した取組) ・コンクリートがらの発生抑制のため 型枠工事の施工精度を上げはつり作業を減少させた。 ・紙くず・廃プラスチックの発生抑制のため 工作物養生のために市販の養生資材を使用及び次の現場で転用した。		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排 出 量	1,000.00 t	500.00 t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え下記の取り組みを予定 ・廃プラスチック・金属くずの発生を抑制するため 各現場内のジュース自動販売機の設置中止の検討 ・木くずの発生を抑制するため 型枠解体材で再利用できる部材を選別し再利用する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各現場で産業廃棄物の種類を表記した 専用ボックスを設置しそれぞれに分別、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特に無し

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度(令和4年度)実績】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラスくず及び陶磁器くず
排出量	0.00 t	33.71 t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
排出量	12.85 t	56.19 t
産業廃棄物の種類	建設汚泥	紙くず
排出量	0.44 t	3.53 t
産業廃棄物の種類	木くず	廃石膏ボード
排出量	42.16 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
排出量	25.30 t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラスくず及び陶磁器くず
排出量	100.00 t	100.00 t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
排出量	100.00 t	100.00 t
産業廃棄物の種類	建設汚泥	紙くず
排出量	200.00 t	100.00 t
産業廃棄物の種類	木くず	石膏ボード
排出量	100.00 t	100.00 t
産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
排出量	200.00 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・実施していない			
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
・予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまで実施した取組) ・実施していない		
【目 標】			
②計画	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラスくず及び陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラスくず及び陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラスくず及び陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・実施していない			
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラスくず及び陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラスくず及び陶磁器くず
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまで実施した取組) ・実施していない		
【目 標】			
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラスくず及び陶磁器くず
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・実施していない			
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまで実施した取組) ・実施していない			
【目 標】			
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・予定なし			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・実施していない			
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	建設汚泥	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・実施していない			
【目 標】			
②計画	産業廃棄物の種類	建設汚泥	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・予定なし			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	木 く ず	石 膏 ボ ー ド
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	木 く ず	石 膏 ボ ー ド
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	木 く ず	石 膏 ボ ー ド
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・実施していない			
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	木 く ず	石 膏 ボ ー ド
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	木くず	石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまで実施した取組) ・実施していない			
【目 標】			
②計画	産業廃棄物の種類	木くず	石膏ボード
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・予定なし			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・実施していない			
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
【目 標】			
	産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	全処理委託量	297.50 t	128.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	297.50 t	128.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートがら・廃アスファルト・木くず・紙くず・金属くずは、再生できる業者に委託する。 ・廃プラスチック類を焼却処理する場合は、熱回収の認定を受けた業者に委託する。 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	全処理委託量	1,000.00 t	500.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,000.00 t	500.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	0.00 t	33.71 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	33.71 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	100.00 t	100.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	100.00 t	100.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	全処理委託量	12.85 t	56.19 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	12.85 t	56.19 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず
	全処理委託量	100.00 t	100.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	100.00 t	100.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	紙くず
	全処理委託量	0.44 t	3.53 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.44 t	3.53 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	紙くず
	全処理委託量	200.00 t	100.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	200.00 t	100.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃石膏ボード
	全処理委託量	42.16 t	0.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	42.16 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃石膏ボード
	全処理委託量	100.00 t	100.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	100.00 t	100.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
	全処理委託量	25.30 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	25.30 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
	全処理委託量	200.00 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	200.00 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。